



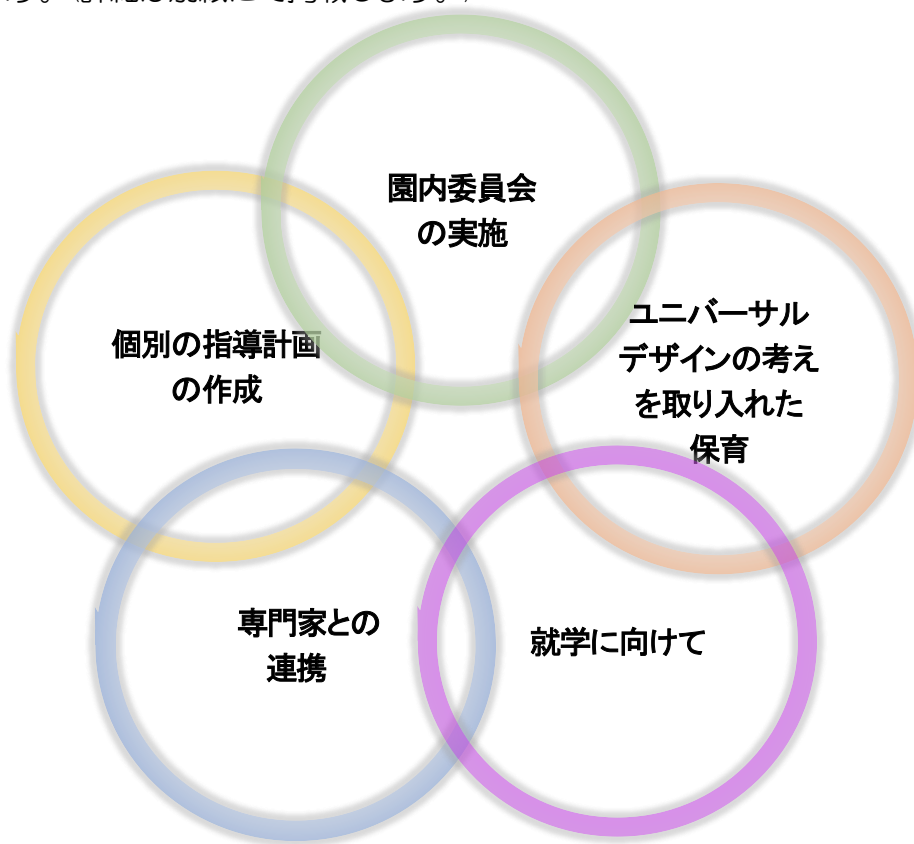
こうきた 6月号

杉並区立高円寺北子供園

一人ひとりが最大限成長できる子供園

主任教諭(特別支援教育コーディネーター) 三好 友世

新年度が始まり、2ヶ月近くが経ちました。新入園児も進級児も少しずつ新しい学級に慣れ、「自分でできた」ということが増えています。そこには、担任が学級の子どもたち一人ひとりのことを思い、どの子も安心して生活に取り組めるように、援助や環境の工夫があります。今回はその取り組みとして、本園の5つの特別支援教育の取り組みについてご紹介します。(詳細は別紙にて掲載します。)



令和5年4月1日には、こども家庭庁が設置され、こども基本法が施行されました。『こどもまんなか社会』の実現に向けて、発達に応じて、常にこどもに最も良いことは何かを考えていこうという取り組みが始まりました。

杉並教育ビジョン2022『みんなのしあわせを創る杉並の教育』においても、「ちがいを認め合い、自分らしく生きる」ことが記載され、“多様性” “ちがいや特性” を互いに認め合うことの大切さが分かります。高円寺北子供園でも、『一人ひとりが、安心して最大限成長できること』で多様な個人の力が発揮されつつ、共に支え合う教育を目指してまいります。





高円寺北子供園 5つの特別支援教育の取り組み

園内委員会の実施

ほぼ毎月、園内委員会を実施し、子どもたちに必要な支援が届くようにしています。一人ひとりに目を向け、学級担任だけでなく職員全員で各学級の状況を把握し、援助や環境の工夫や改善について話し合っています。

ユニバーサルデザインの考えを取り入れた保育

例えば、身支度の手順を分かりやすく絵で表示したり、1日の生活の見通しを順序立てて表示したり、物の置き場を絵で表示したりして、各学年の実態や発達に応じて分かりやすい環境を整えています。

「障害者の権利に関する条約」で定義されているユニバーサルデザインの考えを取り入れ、「最大限可能な範囲で、すべての子どもがよく分かる保育をすること」であると考えられます。支援が必要な幼児に対して行う工夫が、学級すべての幼児にとってもより分かりやすいものにつながります。この観点から、支援が必要な幼児を含めて学級全体でどうあるべきか考え、一人ひとりが自分で分かって生活できる保育を目指しています。

個別の指導計画の作成

特別な支援が必要な幼児一人ひとりに、子供園で効果的な指導を行えるように指導計画を作成しています(介助員が加配されている幼児は必ず作成しています)。今年度も年度初めに作成しました。幼児の姿から、長期目標・中期目標、具体的な対応・配慮・支援を立て、学期ごとに振り返り、次の課題を記載します。これを活用し、計画的・継続的な指導や支援を行っています。

専門家との連携

巡回相談員(外部講師)が、年に3回、園を訪問します。園内の様子を見てもらい、支援の方法を学んだり、支援について評価・改善をしたりし、実際の子供園生活の中で適切な支援ができるようにしています。子供園は関係機関と連携をとり、子どもたちの発達を多面的に支援できるよう努めています。

就学に向けて

杉並区は、通常の学級・特別支援学級・特別支援学校など、多様な学びの場が整備・充実されています。発達によって、どこで学び、力をつけていきたいかが選択できます。就学支援相談においても、園長・担任・特別支援教育コーディネーターが窓口になり、お話を聞いたり、関連機関との連絡・調整を行ったりしていきます。



《6月の保育》

★3歳児 うさぎ組

園生活に慣れ、朝の身支度など自分でできることが増えてきました。また、登園すると自分のやりたい遊びを見つけて遊び出すようになってきました。保育室ではダンゴムシやアオムシ、アリなどのお面を作り、保育者や周りの子と一緒に身近な生き物になって遊ぶことを楽しんでいます。また、ウレタン積み木が使えるようになり、積み上げて作った場を乗り物や家に見立てて遊ぶことも楽しくなってきました。

今月は保育者や周りの子と一緒に作った場で遊ぶ楽しさを感じたり、様々な生き物になって体を動かす楽しさを感じられるようにしたりしていきます。また、晴れた日は砂場で水や砂、泥の感触を十分に楽しみ、下旬から始まる水遊びでは少しずつ水に慣れ、水の冷たさや心地よさを感じられるようにしていきます。

★4歳児 くま組

天気のよい日は、園庭で保育者や友達と一緒に『おおかみさん、今何時』という簡単な追いかけっこ遊びをし、思い切り体を動かす心地よさを感じています。保育室では、これまでウレタン積み木を使って遊んできましたが、先日、年長組から中型積み木を譲り受け、自分たちも使えることをとても楽しみにしています。

今月は、中型積み木や衝立などで自分の場を作って遊んだり、空き箱や京花紙、画用紙などの身近な素材を使い、様々に見立てて作る面白さを感じたりできるように援助していきます。また、学級のみんなで歌ったり踊ったり、簡単なルールのある遊びを行いながら、近くにいる友達のしていることに興味をもち、友達と一緒に体を動かしながら、楽しさを感じられるようにしていきます。

下旬からは、水遊びが始まります。水を使ったいろいろな遊びを楽しみながら少しずつ水に慣れ、心地よさや開放感を味わえるようにしていきます。

★5歳児 ぞう組

今月は、毎日の遊びで楽しんでいることをもとに、学級で1つのテーマに向かって取り組む、『ごっこ活動』を計画しています。2~3人の友達で集まって1つのコーナーを担当し、必要なことを自分たちで考えながら準備を進めていきます。その中で、友達に自分の思いを伝えることや、相手の話を聞くことなど、友達と一緒に進めていくために必要なことを経験していきます。準備する中で、思いのぶつかり合いも十分に経験し、どうしたら互いに納得して進めることができるのか、ということを考える機会にしていきます。最後には、「友達と一緒にできた!」という嬉しい気持ちや、学級のみんなで1つのものを作り上げた達成感を味わえるようにしていきます。

下旬からはプール指導が始まります。水で遊ぶ開放感を十分に味わい、水の中で伸び伸びと体を動かして遊ぶことを楽しみたいと思います。